



〈雜錄〉社會政策學會第二回大會記事

河津, 暹

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 6(2):294*-308

(Issue Date)

1909-02

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00051355>



社會政策學會第二回 大會記事

法學博士 河津 暹

社會政策學會ハ昨四十一年十二月二十日並ニ
同二十一日ヲトシ第二回大會ヲ東京高等商業學
校講堂ニ開キ第一日ニハ會テ議定シタル『社會
政策ヨリ見タル關稅問題』ニツキ會員並ニ同間

題ニ關係アル朝野名士ノ意見ヲ問ヒ以テ同問題
ノ解決ニ資シ第二日ニハ會員ノ社會政策其他ニ
關スル講演會ヲ開キ聊カ社會政策ニ關スル知識
ヲ普及セントセリ幸ニ第一回大會ノ如ク社會ノ
同情ヲ博シ講演ヲセラレタル諸氏ヲ初メ有森、
下岡、日比、木村、野中、乘竹、留岡、阿部氏等
數十名ノ來賓ノ臨場ヲ辱フシタルノミナラズ都
下有力ナル新聞社ハ其社員ヲ列席セシメテ其模
樣ヲ廣ク天下ニ報道シタルガ如キハ其ノ同情ノ
甚ダ薄カラザル證左ニシテ本會ノ特ニ感謝スル
所トス而カモ歲末多忙ナル季ナルニ關セズ滿堂
立錫ノ地ナキ程ノ多數ノ傍聽者ノ來場セラル、
アリ前後二日ニ亘リ毫モ倦怠ノ色ナク討論講演
ヲ謹聽セラレシガ如キ予輩ハコ、ニ本會ヲ代表
シテ謝セザル可ラザルナリ。コレヨリ先キ我委
員ハ前年ノ例ヲ襲ヒテ第一回委員會ヲ昨年九月
二十七日ニ開キ第二回大會ニ關スル諸般ノ準備
方針ニツキ協議スル所アリ其後前後數回委員會

ヲ開キ以テ其準備ヲ了シタリ。特ニ高野、桑田兩委員ハ自ラ諸般ノ庶務ニ當ラレ貴重ノ時間ヲ割カレタル福田委員ノ書肆トノ交渉ニ盡サレタル更ニ佐野、關兩委員ノ講堂ノ借入レ竝ニ之ニ附隨セル大會準備ニ盡サレタル此ニ本會ノ大ニ感謝スル所トス

第一日『社會政策ヨリ觀タル關稅問題』討議ハ豫期ノ如ク十二月二十日午前九時二十分ヨリ開催セリ。佐野敎授司會者席ニ就キ開會ヲ宣セラレ山崎博士ヲ紹介ス。山崎博士登壇開會ノ辭ヲ陳ベラル先ヅ社會政策ガ自由放任主義竝ニ社會主義トハ異リ一面現今ノ經濟組織ノ繼續存在ヲ認諾スルト共ニ其ノ凡百ノ弊害ヲ芟除シテ以テ社會ノ圓滿ナル發達ヲ庶幾スル旨ヲ明ニシ更ニ進シテ第一回大會ガ豫期以上ノ成績ヲ以テ完了スルコトヲ得タルハ社會ガ本會ノ精神ヲ汲ンデ之ニ多大ノ同情ヲ寄セラレタルガ爲ナリ特ニ第一回大會ハ獨リ我國ニ於テノミナラズ海外諸國

ニモ少カラザル反響ヲ生ジタル旨ヲ說キ本會モ亦第一回大會ト均シク好成績ヲ以テ迎ヘラレシコトヲ希望スル旨ヲ陳ベラレタリ

第二席ニ予輩ハ不敏ナガラ報告者ノ一人トシテ我關稅制度ノ大要ヲ報告セリ即チ關稅問題ハ關係スル所多岐ニシテ獨リ社會政策ノ要望ニノミ依頼シテ之ヲ決スルコト能ハズト雖モ問題ヲシテ明ナラシムル爲ニ特ニ社會政策ヨリ觀タルノ文字ヲ冠セシメタルコトヲ說キ更ニ轉ジテ我國通商條約竝ニ條約改正ノ沿革ヲ略述シ、現行關稅制度ノ缺點ヲ指摘シ、財政上ニ於テハ關稅ヲ以テ好稅源トナスコト能ハザルノミナラズ本日主ナル討議ノ題目ナル米穀ノ如キハ從來無稅ナリシニ拘ラズ日露戰爭ニヨリテ惹起サレタル歲入増加ノ必要ハ之ニモ課稅スルコト、ナリ以テ農業保護ノ政策ヲ喚起スルコトニ至リタルト共ニ先進國ヨリ輸入スル貨物ハ協定稅率ニヨリ課稅セラル、モノ、多キガ故ニ我國產業ノ發展

上保護ノ必要アルモノモ其目的ヲ達スルコト能ハズト説キ此等關稅上ノ缺點ハ來ルベキ條約改正ト共ニ之ヲ一掃セザル可ラズト斷ジ社會政策ニ最モ關係深キ貨物ハ多クハ東洋諸國ヨリ輸入スルモノニシテ從テ來ルベキ新條約ニ於テモ協

定稅率ノ束縛ヲ受クルコト非ルベシト信ズルガ故ニ我國ノ經濟事情ニ重キヲ置キテ其率ヲ定メ得ベシト説キ而シテ之ヲ解決スルニハ單ニ消費著ノ利益ノミニ着眼セズシテ生産者其他諸般ノ利益ヲ斟酌シテ之ヲ決スベシト説キ又予輩本問題ニツキテモ尙多少ノ意見ナキニ非ズト雖モ矢作神戸兩博士ノ該博ナル報告アルベキガ故ニ單ニ同問題ノ外圍ヲ説明シタルマデナリ(序ニイフ堀江教授ハ予輩ガ獨リ消費者ノ利益ノミニ着眼セズシテ生産者等ノ利益等ヲ參酌シテ成ルベク兩者ノ利益ヲ調和スベシト説キタルヲ押ヘテ生産者ノ利益ト消費者ノ利益トヲ調和スル如キハ絶對ニ不可能ナリト反駁セラレタリ其反駁ハ

稍予輩ノ説ニ適合セザルモノ、如シ本篇ハ單ニ同會ノ記事ヲ報導スルヲ主眼トスルモノナレバコ、ニ之ヲ詳論セズ他日教ヲ乞フノ機會ヲ待タント欲ス)

第三席ハ京都帝國大學教授神戸博士ノ米穀輸入稅不可ノ報告ニシテ同博士ハ今回モ亦遠路ヲ意トセズシテ來會セラレ特ニ該博ナル論證ニ由リテ該輸入稅ノ不可ナルヲ明ニセラレタルハ本會ノ深謝スル所トス博士ハ先ヅ政策ノ意義ヨリ説明ヲ初メ米穀輸入稅ノ可否ガ即チ社會政策ヨリ觀タル關稅問題ノ眼目ヲナス旨ヲ詳説シ同輸入稅ガ米價及ビ地代ニ及スベキ影響ニ移リ歐米諸大家ノ學說ヲ彙類列舉シテ之ニ短評ヲ加ヘ我國ニテハ該輸入稅ノ設ケラレシヨリ日ノ尙未ダ淺キコト、テ事實ニヨリ此等學說ノ是非ヲ判ズルコト能ハズト雖モ上記ノ學說竝ニ歐米諸國ノ先例等ヨリ推スニ米價竝ニ地代ヲ永久的ニ上騰セシムルモノ、如シ、果シテ然ラハ其社會ニ及

ス影響ハ如何ニトイフニ之ヲ社會下層ノ者ニ及
ス影響ト、商工業外國貿易ニ及ス影響ト竝ニ財
政ヨリ見タル同稅ノ可否トニツキ説明スルヲ便
ニストテ社會下層ノモノハ其所得ノ比較の大部
分ヲ食物ニ對シテ費スモノナルガ故ニ其騰貴ハ
實ニコレ等ノモノニトリテハ苦痛ト稱セザル可
ラズ故ニ社會政策ヨリ見テ之ヲ排斥セザル可
ズ而シテ該稅ヲ起シタル結果外國ノ復讐外國貿
易ノ不振ヲ招クノミナラズ賃銀ノ昂騰生産費ノ
増加ノ爲ニ國內ノ商工業マデモ惡影響ヲ受ケ勞
働者ハ失職等ノ不幸ヲ見ルコト少カラズト說キ
更ニ之ヲ財政ノ方面ヨリ見レバ下層社會ニ比較
的負擔ヲ重カラシムルモノニシテ近世租稅制度
ノ精神ニ背クモノナリ故ニ社會政策ヨリ見レバ
同稅ノ如キハ之ヲ排斥セザル可ラズト結ベリ引
證該博ニシテ到底短時間ニテハ其趣旨ヲ明ニシ
以テ反對論ヲシテ其隙ヲ窺フコト能ハザラシム
ルコトヲ得ザリシハ予輩ノ如キ同稅不可論者ニ

トリテハ特ニ遺憾トスル所ナリ。

同君ノ報告終ルヤ時正ニ十一時五十八分ナリ
シヲ以テ、休會スルコト、ナシ會員一同ハ同講
堂ノ側ニ集マリ紀念ノ爲メ撮影シ畢リテ同校同
窓會事務所ニ於テ午餐ヲ認メ午後一時再ビ開會
セリ

第四席報告者東京法農科大學教授矢作博士ハ
登壇シ同稅ノ廢ス可ラザルコトヲ説明セラレタ
リ博士ハ先ヅ自由保護ノ議論ハ一見氷炭相容レ
ザルガ如シト雖モ其實然ラザルヲ辯ジ吾輩ノ同
問題ニ對スル立脚地モ亦反對論者ト之ヲ同ウス
ルハ奇ナラズヤト說キ自由貿易論ニヨレバ生産
條件ノ具ハレル地ヲ選ビテ生産スルヲ利益トシ
輸入稅ノ如キ障害物ヲ以テ貨物自然ノ交通ヲ阻
害スルハ愚ナルガ如シト雖モ所謂生産條件モ萬
世不易ノモノニ非ズシテ時ト共ニ變化スルモノ
ナルガ故ニ自由貿易論ノ根據モ亦從テ動カザル
可ラズ特ニ今日ハ萬國手ヲ携ヘテ相親和スルヨ

リモ寧ロ所謂國民的利己心ヲ満足スルニ熱心ナルガ故ニ自由貿易論ノ自由交通ノ理ノ如キハ耳ヲ傾ク能ハズト辯ジ更ニ一轉シテ輸入税ノ根據ニ移リ、該輸入税ハ農業ヲ維持スル上ニ必要ナリ農業ハ獨リ國家ニ強兵ヲ供給スルノミナラズ若シ食物ヲ外國ニ仰グ時ハ一旦有事ノ日ハ甚シキ困難ヲ感ゼザル可ラズ故ニ國防上之ニヨリテ農業ヲ維持スルノ必要アリ、又之ヲ經濟上ヨリ見レバ現今我國米穀ハ價高ク外國米ハ價低シ從テ之ガ輸入ヲ見ルト雖モコレ等生産國ノ人口ニシテ増加シ其國經濟ニシテ進歩スル時ハ今日我國ニ輸出セル米穀ヲ以テ其國內ニ於テ之ヲ消費スルニ至ルベシ故ニ我國ハ豫メ農業ヲ振作シテ我國食料ノ缺乏ヲ豫防セザル可ラズ且ツ之ヲ衛生上ヨリ見ルモ我農業衰ヘ水田荒廢セハ「マザリヤ」其他病菌ノ養成所トナラザルヲ保ス可ラズ故ニ米穀輸入税ハ之ヲ廢ス可ラズト結ベリ

以上報告者ノ報告畢リタレバ窪田司會者ハ來

賓代議士淺野陽吉氏ノ講演ヲ請ハレタレバ淺野代議士ハ明快流暢ナル辨舌ヲ以テ、近頃我議會ノ趨勢ヲ見ルニ財政上ノ窮乏ト特殊階級ノ利益トガ相結ンデ動モスレバ保護政策ヲ喚起シ其結果毎ニ議會ノ醜聞ヲ耳ニスト說キ米穀輸入税、砂糖戻税等ニ例ヲ引キコレ等ノ惡風習ハ根絶セザル可ラズ而シテ米穀輸入税論ノ如キハ現今ノ問題トシテハ如上ノ惡風習ノ生ミタル產物ナルガ故ニ之ヲ排斥セザル可ラズトテ實際問題トシテ之ヲ否定セラレタリ之ニ次デ來賓

酒匂農學博士ハ登壇シ農家ノ質朴ナル模様ヲ說キ輸入税反對論者ハ之ニ尙満足セズシテ更ニ之ヲ苦シムルヲ欲スルカト說キ、農產物ノ價格ノ高低ハ社會下層ノ生活ニ甚シキ影響ヲ與フルモノニ非ズト唱ヘ、更ニ我國工業ハ尙未ダ家内工業ノ狀態ニアリ農家ノ副業トシテ營ムモノ多シ故ニ農業ヲ維持スルハ獨リ農業ノ爲ニアラズ我國工業ノ爲ニモ亦必要ナリト斷ゼリ之ニ次デ

同ジク來賓大隈伯爵ハ登壇シ酒匂博士ノ説ヲ反駁シ我國ハ今正ニ産業革命ノ渦中ニアリ而シテコノ革命ハ我國獨リ之ヲ避ク可キニ非レバヨク産業革命ニ伴ヒテ生ズベキ弊害ヲ豫防セザル可ラズ社會政策ニヨリテ社會主義ノ如キ社會ヲ破壊スベキ分子ハ之ヲ防グガ如キハ最モ時務ニ適シタルモノナリトイヒ特ニ米穀輸入税ノ可否ニツキテハ明ニ意見ヲ示シ給ハザリシモノ、如シ之ニ次デ來賓有働農學士登壇シ予輩ハ理論ニヨリ反對論者ト爭ハント欲セズ活ケル事實ヲ以テ之ニ告ゲテ反對論者ノ三省ヲ乞ハント欲スト稱シ地主小作人等ノ所得竝ニ生活ノ狀態等ヲ統計等ニヨリテ之ヲ説明シ既ニ農家ニシテカクノ如キ窮狀ニアリトスレバ輸入税ニ由リテ米價ノ騰貴ヲ促シ以テ其窮狀ヲ濟フハ實ニ社會政策上必要ナリト説ケリ有働農學士ニツイデ來賓

堀江慶應義塾教授ハ登壇シ先ツ予ガ穀物輸入税ニ關スル意見ハ久シキ以前ニ定レリ而シテ之

ヲ數々公ニシテ世間ノ識者ニ質セリ今日社會政策ヨリノ見地ヲ以テスルモ其説ヲ改ムル必要ヲ見ズトノ冒頭ヲ置キ獨逸ノ農業關稅ノ例ヲ引キ同國ニテ農業關稅ヲ起シタル結果官吏其他ノ生活ノ費用ヲ高メ増俸等ヲナサル可ラザルガ故ニ今日財政上ノ困難ヲ誘致セリ以テ見ルベシ穀物關稅ノ財政上少補ナキコトヲト更ニ轉ジテ農業工業保護ノ非理ナルヲ説キ予輩竝ニ矢作博士ノ説ヲ駁シ米穀ニ限ラズ保護關稅ノ如キハ全然之ヲ斥ケザル可ラズト論結セリ堀江教授ノ論ハ自由貿易論ノ爲ニ最モ氣焔ヲ吐キシモノニテ犀利ナル論鋒ハ到ル所光彩ヲ放テリ予輩其論ニ服スルコト能ハズト雖モ當日耳ニシタル演說中最モ優レタルモノ、一ナリ堀江氏ニ次デ同ジク來賓ナル

井上法學博士ハ登壇シ大隈伯ノ語ヲ借リテ堀江君ハ絶對的ニ自由貿易論ヲ主張セラルト雖モ年ヲ經ルニ從ヒ極端ノ凡テ不可ナルヲ悟リ其

主張ヲ撤回セラルベキ期アルベキヲ豫言スト唱
へ今日國際競争ノ旺ナルノ秋ニ當リテハ其國經
濟ノ基礎ヲ固クスルノ必要アリトシ、反對論者
ノ意見ヲ舉テ之ヲ反駁シ米穀輸入税ハ必要已ム
可ラズト斷ゼラル

右ニテ來賓諸氏ノ意見ハ之ヲ聞クコトヲ得タ
ルガ故ニ會ノ順序トシテ會員ノ討論ヲナスベキ
筈ナリト雖モ時正ニ五時四十六分ニシテ長ク討
論スルコトヲ許サルガ故ニ桑田司會者ハ討論
ニツキ時間ノ制限ヲナスベキヲ發議シ之ニ賛成
スルモノアリシカバ一名五分ヲ限度トシテ討論
スルコトヲ宣シ津村、横井、關、建部、瀧本ノ
會員交ル／＼登壇其說ヲ闡ハシタリ。其中横井
建部ノ兩會員ハ同税ヲ賛成シ其他ハ之ヲ否認セ
リ特ニ關、津村、瀧本ノ三會員ハ其說ヲ附演シ
給ヒシガ故ニコ、ニ之ヲ省クコト、セリ時既ニ
六時ヲ過グルコト十五分ナリシガ故ニ討議未ダ
盡キズ會員中尙持說ヲ吐露シテ雌雄ヲ爭ハント

欲スルモノ少カラザリシト雖モ山崎司會者ハ之
ニテ閉會スル旨ヲ宣シ第一日ノ討議ヲ了レリ

討議ノ後同校同窓會事務室ニ於テ例ニヨリ懇
親會ヲ開キタリ來賓堀江教授木村代議士長澤氏
ヲ初メ會員數十名來會ス席上桑田博士ハ來賓諸
君ノ厚意ヲ謝シ特ニ神戸、河上、津村、山内、諸
會員ハ遠路ナルニ拘ラズ特ニ本會ノ爲ニ東上セ
ラレシハ謝辭ナキ旨ヲ挨拶アリ福田博士モ亦立
チテ佐野、關兩教授等ノ盡力ヲ謝シ其ヨリ雜談
ニ時ノ移ルヲ知ラズ散會シタルハ九時過ナリキ
翌二十一日午前九時ヨリ豫定ノ如ク會員ノ講
演會ヲ開ク。來賓ニハ木村代議士阿部文學士留
岡氏等ノ諸氏ヲ見受ケ傍聽者ハ前日ト同ジク開
會前既ニ滿堂立雖ノ地ナキノ盛況ヲ呈セリ以テ
本會講演ガ社會ノ視聽ヲ惹クコト厚キヲ推知ス
ルヲ得ベシ。講演者中内田文學博士ハ病氣ノ爲
上京セラル、コト能ハズ同財部學士モ家族ニ病
者アリタル爲メ東上スルコトヲ得ラレザリシハ

本會ノ最モ遺憾トスル所ナリ兩君ノ意見ハ之ヲ筆ニシテ不日公ニセラルベキ「關稅問題」中ニ示サルベシトイヘバ讀者ハ之ニツキテ穩健精密ナル研究ニ接スルヲ得ベシ。幸ニ神戸高等商業學校教授津村秀松君竝ニ前長崎高等商業學校教授守屋源次郎君ガ講演ニ參加セラレタルハ本會ノ甚ダ多トスル所トス而シテ講演ハ何レモ多年ノ研究ノ餘ニ出ヅルモノナレバ之ヲ短縮スルハ講演者ニ對シ甚ダ御氣ノ毒ノコトナリト雖モ豫定ノ講演ヲ完了セシムル爲ニハ其講演時間ヲ制限セザルヲ得ザリキ。コヽニ其講演ノ概要ヲ記シテ當日ノ盛會ヲ記念セント欲ス

午前九時關稅教授司會者トシテ前年ノ例ニ倣ヒ第二日ヲ以テ講演會ニ當テタル旨ヲ宣シ東京高等商業學校教授瀧本美夫君ヲ紹介セラル。

瀧本教授ハ「中等民ノ保護」ト題シ、先ヅ社會ノ維持發達上中等民階級ノ甚ダ必要ナルコトヲ詳述シ轉ジテ近世資本主義ガ勢ヲ逞クスルニ對

シ中等民ヲシテ成ルベク多ク從テ之ニヨリテ社會ノ基礎ヲ鞏固ナラシムル爲ニハ之ガ保護ノ道ヲ講ゼザル可ラズト斷ジ所謂中等民ハ官吏民吏即チ俸給ニ衣食スルモノ、農業者、工業者竝ニ商業者ノ種類ニヨリ自ラ其困難ノ程度原因ヲ異ニスルヲ以テ、其保護ノ方法異ラザル可ラズ俸給ニ衣食スルモノ、困難トスル所ハ其俸給ハ昔日ト異ルコトナク一般所得ノ増進ニ伴ハザルト共ニ一方ニハ物價ハ種々ノ原因ニヨリ騰貴スルヲ以テ到底其位置ヲ保ツコト難シ故ニ俸給ヲ増加スルノ道ヲ講ゼザル可ラズ。農民ノ困難ハ或論者ノ說ノ如ク米價ノ低キニ起因スルニ非ズ米價ハ益々騰貴ス從テ關稅策ニヨリテ更ニ之ヲ騰貴セシムルガ如キハ策ノ得タルモノニ非ズ、農民ノ困難ハ第一ニハ農業ハ人口ヲ收養スル力少キニアリ第二ニハ其經營方法ガ小ニ失スルニアリ第三ニハ信用機關ガ不完備ナルニアリ故ニ模範農場肥料ノ改良、教育ノ普及等ノ方法ニヨリ農

業ヲ振作セシムルハ異論ナシト雖モ關稅策ニヨリテ之ヲ保護スルハ宜シカラズ工業者ニ至テハ得意先ノ確定セルモノハ危險ナシト雖モ其他ノモノニ至テハ資本的生産組織ガ發達シタル爲メ危殆ニ陷レリ而シテ學者爲政者等ニヨリテ之ガ救護ノ策ノ立テラレタルモノアリト雖モ、其實績ナキガ如シ。商業家特ニ小賣商業者ハ近頃其數甚ダ多キノミナラズ消費者生産者ノ爲ニ迫害ヲ受ケ更ニ大規模ノ經營方法ノ發生ノ爲ニ苦境ニ陷レリ而シテ之ガ救濟ノ方法トシテ或ハ消費組合「テパートメント、ストア」等ニ課稅シ、商業者ノ資格ヲ制限スベキコトヲ唱フルモノアリト雖モ他ノ階級又ハ自己ヲ束縛スル外其困難ヲ救フニ足ラズ其困難ヲ救フノ道ハ教育ヲ進歩セシメ團體的精神ヲ鼓舞スルヨリ他ニ良策ナキガ如シト

瀧本教授ニ次デ山内長崎高等商業學校教授ハ登壇シ關稅ニ對スル根本主義ト題シ自由及ビ保

護貿易ニ關スル意見ヲ發表セリ前日大隈伯ハ社會主義ヲ唱フルモノモ一朝勢力ヲ占ムルニ至ルヤ其說大ニ弱クナルモノナリトイハレタレドモ是レ正ニ然ル可キコトニテ其說ニ異動ヲ生ズルハ必竟立脚點ヲ異ニスレバナリ之ト同ジク自由保護ハ氷炭相容レザルガ如シト雖モ其實發足點ヲ異ニスルガ爲ニカクノ如キ差異ヲ生ジタルモノニテ初ヨリ優劣ヲ定ムベキモノニ非ズ自由貿易ハ理論ニ保護貿易ハ政策ニ各起點ヲ有ス故ニ理論上ヨリイヘバ自由貿易ヲ舉ゲザル可カラズト雖モ實際問題トシテハ保護ヲ推サル可ラズ自由貿易ガ商業ノ自由、輸出入ノ平均ヲ其證據トナスガ如キハ其ノ理論ニ根據ヲ据ユルノ證ナリ反之保護貿易論ニモ私益ハ公益ニ讓ラザル可ラズトイフガ如キ理論的方面ナキニ非ズト雖モ其ノ主眼トスル所ハ實際方面ニアリ保護ヲナスニ非レバ其國ヲシテ「ダンピングフヒールド」ヲラシムル虞アリ苗芽ヲ發シタル工業ハ外國ノ競

爭ニ壓セラレテ發育スルコト能ハズトイフガ如キハ理論ヨリモ寧ロ實際論ナリト説明シ英國產業ガ長足ノ進歩ヲナシタルハ自由貿易ノ賜ニ非ズ獨逸ガ近年ノ進歩ハ保護貿易與テ力アルコトヲ立證シ以テ自由保護論ノ分歧點ヲ明ニシタリ氏ガ特ニ本會ノ爲ニ長崎ヨリ出京セラレタルハ學ニ忠ナルモノトイフベシ

第三席ニ河上京都帝國大學講師登壇シ「農業保護ト外米課税ノ價值」ノ題名ノ下ニ明快ナル辯舌ヲ以テ得意ノ農業論ヲ披陳セラレタリ氏ハ其論旨ヲ三段ニ分チ第一農業ハ保護スベシ第二外米課税ハ農業ヲ保護スル力ナシ寧ロ農家ノ爲ニ有害無益ナリ第三然レドモ一旦之ヲ存置シタル以上ハ之ヲ俄ニ廢ス可ラズト斷ゼリ第一段ニハ英國ト我國トヲ對照シ都會ノ衛生上有害ナルガ爲ニ成ルベク田舎ニ人口ヲ留メ置カザル可ラス而カモ英國ハ國民トシテ保守のナレハ爭フテ都會ニ集マルトモ社會ノ基礎ヲ危クスル虞ナシ

ト雖モ我國ノ如キハ即チ然ラズ故ニ農業ヲ保護シテ保守の分子ヲ失ハザルコトヲ要スト説キ、第二段ニ移リテ、外米ヲ課税スル時ハ穀價ヲ騰貴スル力アリトスルモコレ等少額ノ穀價ノ騰貴ハ農民ヲシテ幸福ナラシムルモノニ非ズ却テ農民ノ健全ナル氣風ヲ破ル虞アリ故ニ予輩ハ外米課税反對論者ノ説ヲ容レテ其ノ有害無益ナルヲ承認セン然レドモ新ニ租税ヲ起シ若クハ税率ヲ高クスルハ宜シカラズト雖モ既ニ一旦之ヲ課税シタル以上ハ俄ニ之ヲ廢ス可ラズ經濟社會ノ秩序ヲ破ル虞アレハナリ既ニ課税反對論者ニカクノ如キ讓歩ヲナシタル以上ハ反對論者ハ予輩ノ説ヲ容レザル可ラズトイヒテ降壇セリ之ニ次デ田中早稻田大學講師登壇先ヅ河上君ノ意見ヲ反駁シ、既ニ外米課税ニシテ有害無益ト斷ズル以上ハ之ヲ廢スルコト一日早ケレハ一日ノ利益アリ有害ナレドモ尙之ガ存置セザル可ラズトイフガ如キハ論理貫徹セズト説キ其論題課税ニ由リ

テ貧富ノ懸隔ヲ調和スベキヤニ移リ。奢侈ヲ禁止スル爲メ、國民ノ健康ヲ保全スル爲メ、内國ノ産業ヲ保護スル爲メ、銀行紙幣ノ流通ヲ止ムル爲メ、他人種ノ入國ヲ止ムル爲メ等古來收入以外ノ目的ヲ以テ課税シタル事例ヲ舉ゲ而シテ課税ニ由リテ貧富懸隔ヲ調和セントシタルハ古クハルソーアリ近クハワグナーアリ特ニワグナーノ如キハ租税ヲ以テ社會政策ヲ遂行スル最良手段ナリトストテワグナー氏ノ意見ヲ紹介シ之ガ缺點ヲ舉ゲテ詳ニ反駁シ若シ社會ニ強弱二階級アラハ強者ヲ苦メズシテ弱者ヲ助クルノ道ヲ講ズベシ進ンデ強者ヲ苦シムル必要アル可ラズ貧富ノ懸隔ハ之ヲ平均スル必要ナク唯社會全體ノ幸福ヲ増進スレバ足ル課税ニヨリテ富者ノ富ノ一部ヲ奪フガ如キハ不可ナリト論斷セリ。時ニ既ニ正午ヲ超エタルガ故ニ休憩ス

午後一時十分開會桑田博士司會者トシテ會員ニ對シテ第三回大會委員選舉ノコトヲ諮ル會員

福田博士議長ノ指名ニ一任シ且ツ本會ノ委員ハ稍多キニ過ギタルガ故ニ幹事三名ノ外十名トスベキコトヲ發議ス、鹽澤君ノ贊成アリ司會者ハ會員異議ナキモノト見做シ左ノ諸氏ヲ指名ス

金井、田島、矢作、小野塚、佐野、田中、關、建部、氣賀、津村、ノ十名其外中島、桑田、外一名ノ幹事

第五席關高等商業學校教授登壇、「都市交通機關ノ發達ト居住關係」ト題シ詳細ナル研究ヲ示サル教授ハ本論ニ入ルニ先テ昨日討論ノ際時間ナカリシ爲メ意見ヲ陳ブル事能ハザリシトテ大隈伯ノ辭ヲ引キ我國經濟界ハ今正ニ産業革命ノ渦中ニアリ而シテ世間我國商業道德振ハザルガ爲ニ我國外國貿易ガ振フ能ハズト論ズルモノアリト雖モ我國ノ輸出ノ大ニ興ラザル所以ハ蓋シ我國ノ産業組織ガ工場制ナラザルニ在リ工場制ナラザルガ故ニ商品不揃ニシテ世界ノ大市場ニ供給スルコト能ハザルナリ故ニ我國ノ産業ヲ振起セント欲セバ宜シク工場制トナサル可ラズ

産業革命ヲ完了セシメザル可ラズ河上氏ノ說ノ如ク農業ヲ保護シテ田舎ニ成ルベク多クノ人口ヲ留メ置カントスルハ畢竟コノ大勢ニ反抗セントスルモノナリ勿論都會ニ密集スルハ弊害アルベシト雖モ其弊害ハ或程度マデハ之ヲ矯正スルヲ得ベシ故ニ多クノ人口ヲ田舎ニ留メ置キテ未發達ノ經濟狀態ヲ持續センヨリハ寧ロ經濟ヲ發達セシメテ其ノ之ニ伴フ弊害ヲ成ルベク除去スルヲ以テ策ノ得タルモノナリト說キ都會ヲ改良スルノ道多々アルベシト雖モ予ハコノニ單ニ都市ノ交通機關ニ就テ少シク談ラント欲ス都市ノ交通ハ市内ノ交通ト市外ノ交通トニ分ツヲ得ベシ而シテ市外ノ交通ニツキ特ニ困難ナル點ハ一定ノ時間一定ノ方向ニ人口ヲ運送セザル可ラズ都市ニシテ發達スレバ其困難ハ益々甚シキヲ加フベシ若シ都市外トノ交通機關ニシテ發達スル時ハ人口ノ一部ヲ移シテ都市以外ニ居住セシムルヲ得ルガ故ニ其生活ノ程度ヲ引下ケ社會政策

上利益アルノミナラズ都市以內ニ於テモ營業所ト居住トヲ分離スルノ傾向アリ我國ノ如ク營業所ト居住トヲ分離セザルハ實ニ贅澤ナリ而シテ都市以外ノ交通發達スルニ從ヒ勢線路ヲ延長セザル可ラザルヲ以テ其經費モ亦嵩マラザル可ラズ故ニ予ハ信ズ都市ノ交通機關ハ其運輸ノ道開クルニ從ヒ其運賃ヲ増長スルハ勢免ル可ラザルコトナリ但シ我が東鐵ノ如ク經營甚ダ拙劣ナルモノニ對シテ特ニ賃銀ヲ高クシテ彼等ノ利益ヲ輔填スルノ必要アル可ラザルナリトテ萬丈ノ氣焰ヲ吐キ降壇セラレタリ

之ニ次デ神戸高等商業學校教授津村秀松君ハ登壇シ穀物保護關稅ノ價值ニツキテ詳細ニ其意見ヲ吐露セラレタリ津村君ハ前會ニ於テモ最モ光彩アル講演ヲ試ミラレタルガ今回モ亦萬丈ノ氣焰ヲ吐キテ滿堂ノ聽衆ヲシテ殆ンド其送迎ニ違アラザラシム。農業論者ハ農ハ國ノ本ナリ農業者ハ國民中最モ多數ヲ占ム故ニ農業ハ之ヲ保

護セザル可ラズト說クコノ論ニ從ヘバ若シ將來
商工業發達シテ商工業家ガ社會ノ多數ヲ占ムニ
至ラハ農業ハ之ヲ保護セザルモ差支ナシトイハ
ザル可ラズ農業保護論ノ根據甚ダ薄弱ナリ。農
業ヲ獎勵保護スルハ必要ナリ然レドモ關稅ニヨ
リ穀價ヲ騰貴セシムル如キハ策ノ最モ拙ナルモ
也策ノ巧拙ハ兎モ角穀物關稅ニシテ農業ヲ發
達シ農家ヲシテ幸福ナラシムル力アラバ即チ可
ナリ然レドモ穀物關稅ハ穀價ヲ騰貴セシムル力
アリト雖モ穀價ノ騰貴ハ地代小作料ヲ騰貴セシ
メザル可ラズ地代小作料ニシテ騰貴セバ農業ノ
收益ハ自ラ減少セザル可ラズ若シ其收益ニシテ
減少セバ増稅セザル可ラザルニ至ラン實ニ其底
止スル所ヲ知ラザルナリ而カモ穀物ノ價格ノ騰
貴ハ農業者全體ヲ利益スルモノニ非ズシテ農業
者中其穀物ヲ市場ニ賣捌クモノ、ミヲ利益ス而
カモコレ等ノ利益スベキ農業者ハ現在ノ地主小
作人ノミニシテ新ニ地主タリ小作人タルモノハ

遂ニ利益ニ與ルコト能ハズト斷ジ更ニワグナ一
ノ說ヲ引キテ其說ノ矛盾ナルコトヲ說キ我國是
トスル所ハ工ヲ振作シ朝鮮支那ヲ併セテ一大經
濟圈ヲ作ルニアリ我國農業ヲ保護シテ他ヲ省ミ
ザル如キハ小ナル日本ヲ以テ甘ンズルノ徒ナリ
決シテ先見アルモノ、ナスベキ所ニアラズト論
結セリ

津村氏ニ次デ前長崎高等商業學校教授守屋源
次郎君ハ登壇シ我國ノ婦人ト其教育ト題シ快辯
ヲ振ハレタリ我國ノ社會問題ハ實ニ婦人問題ヲ
以テ最モ重要トナス歐米ニ於ル婦人問題ハ職業
問題經濟問題ナリト雖モ我國ノ婦人問題ハ實ニ
道德問題ナリト說キ我國婦人ハ西洋思想ノ東漸
ト職業ノ獨立竝ニ女子教育ノ力ニヨリ從來ノ美
德ヲ失ヒテ今正ニ五里霧中ニ彷徨スルモノ、如
シ、進ンデ全ク歐米ノ如クナルカ退ヒテ昔時ノ
如キ制度ニ戻ラザル可ラザルカ吾人ノ最モ留意
シテ研究スベキ問題ニ屬ストテ婦女子ノ風俗思

想態度ヲ痛罵シテ降壇セラル予輩ノ傍聴ノ際會
會感ズル所ヲ忌憚ナクイヘバ守屋君ノ演說ハ快
辯ニシテ伸縮甚ダ自在ナルノミナラズ其ノ問題
ハ演者ノ說ノ如ク社會問題中最モ重要ナルニハ
相違アル可ラズト雖モ問題ノアル所ハ演者寧ロ
深ク之ニ接觸セズシテ徒ラニ婦女子ヲ痛罵シタ
ル如キハ予輩ノ甚ダ探ラザル所ナリ

覓東京法科大學教授ハ登壇シ「人民ノ本質」ト
題シ得意ノ哲學的見地ニヨリテ表現說ヲ比喻ヲ
以テ說明セラレタリ

覓博士ニ次デ栗津法學博士ハ登壇シ「現時ノ
保險政策ニ就テ」ト題シ社會政策上火災保險ノ
最モ必要ナルコトヲ詳述シ近時ノ火災保險會社
ノナス所ハ實ニ社會政策ノ精神ニ副ハザルコト
ヲ夥多ノ例ヲ掲ゲテ之ヲ說明シコレ等ノ事實ヲ
以テ之ヲ推スニ火災保險ヲシテ社會政策ノ要望
ニ副ハシメント欲セハ須ク之ヲ官營ニナスベシ
ト論結セラレタリ

最後ニ建部文學博士ハ登壇シ「世界ノ大勢ト
勤儉貯蓄」ト題シ先ヅ近世社會ノ大勢ヨリ說キ
初メテ現今ノ社會ハ實ニ矢作博士ノ說ノ如ク國
際競争ノ社會ナリ故ニ此間ニ處シテ敗ヲ招カザ
ラント欲セハ特ニ勤儉ノ風ヲ養ハザル可ラズト
說キ勤ト儉トノ意義ヲ明ニシ國民ヲシテ其ノ歸
スル所ヲ明ニセリ其論旨特ニ大書スルモノナシ
ト雖モ傍引該博辯舌雄渾ニシテ奔流ノ如ク聽衆
ヲシテ殆ンド其說ニ酔ハシメタリ時既ニ六時ヲ
過ギタルヲ以テ閉會ヲ告ゲタリ

翌二十二日ハ午前ハ會員ノ有志ハ農科大學ヲ
參觀シ午後ハ芝浦製作所ヲ參觀セリ兩所トモ本
會ノ爲ニ多大ノ便宜ヲ與ヘラレタルハ本會ノ多
謝スル所ナリ特ニ農科大學ハ我會員ニ對シテ午
餐ヲ供セラレタルハ予輩ノ多トスル所ナリ

同日午後六時高等商業學校同窓會事務所ニ於
テ新舊委員會ヲ開キ併セテ神戸河上津村山内四
君ノ慰勞會ヲ開ク席上次期ノ大會々場ト竝ニ討

論題ヲ協議ス。會場ハ之ヲ慶應義塾ニ借り討論
題ハ之ヲ遂ニ「社會政策ヨリ見タル移民問題」ト
シ報告者トシテ福田高野財部三會員ニ依囑スル
コト、セリ。最後ニ神戸河上津村山内四君ガ本
會ノ爲ニ致サレタル好意ヲ謝シ併セテ社會有識
者ノ同情ニ謝ス。コノ同情ニ對シ吾人同志ノモ
ノハ誓ツテ社會幸福ノ萬々ノ一ニ寄附センコト
ヲ期ス(終)